

## 人口の動態について

### 1 趣旨

盛岡市総合計画において人口対策に資する取組を「未来創造プロジェクト」として位置付け、人口減少社会に対応した取組を一層推進することとしていることから、本市の人口動態について共有するとともに、「盛岡市へのUターンに関する意識調査」の分析結果を報告し、今後の人口対策に資する施策を展開するうえで参考とするもの。

### 2 最新の人口動態

本市の総人口は平成12年をピークに、減少傾向が続いている。自然動態は、出生者数の減少と死亡者数の増加が同時に進行し、減少幅は拡大し続けており、社会動態は、特に20～29歳の若年層の転出超過が顕著であり、コロナ禍前の水準まで社会減が拡大している。

※詳細は別紙P 1～P 7のとおり

### 3 Uターンに関する意識調査の分析結果

#### (1) 分析の趣旨

令和6年度に実施した、岩手県立大学との協働研究「盛岡市へのUターンに関する意識調査」について、属性による分析を行うとともに、アンケート調査では把握に至らなかった具体的な転出理由等について明らかにするため、インタビュー調査を行ったもの。

#### (2) 分析の手法

本市においては、女性や若年層の転出超過が顕著であることから、「盛岡市へのUターンに関する意識調査」の結果について、男女別の傾向を分析するためクロス集計を行ったほか、若年層のより具体的な意向やニーズを把握するため、学生にインタビュー調査を行った。

#### (3) 分析結果を踏まえた考察と今後の課題

女性や若年層の転出超過を緩和するためには、転出を抑制する取組のほか、一度転出しても、結婚・出産などのライフイベントを契機に「盛岡に戻りたい」と思えるような取組が必要である。

また、学生が求める柔軟な働き方や就職活動の形態に合わせ、企業側において労働環境の整備や情報発信の強化等の対応が必要である。

※詳細は別紙P 8～P 19のとおり